

たかさご
「高 砂」

まちうたい
待謡

「Takasago」 Machi-Utai

たかさごや。このうらぶねに ほをあげてー。

Takasago-ya. Kono-ura-bune-ni Ho-wo-age--te--iya

このうらぶねに ほをあげて。

Kono-ura-bune-ni Ho-wo-age-te

つきもろともに いでしおの。

Tsuki-Morotomo-ni Ide-shio-no

なみのあわじの しまかげや。

Nami-no Awaji-no Shima-kage-ya

とおく (ン) なるおの おきすぎて

Toh ku (n) Naruo-no Oki-sugi-te

はー あや すみの おえに つきにけり
ヨー △ ヨー△イ ヨ● ホーり
Hah a-ya Sumi-no o-E-ni Tsuki-ni-ke ↓
Yoh- △ yoh- △i yo● hoh- -ri

はー あ す の
イヤー△ イヤー△ えに つきにけりー

↓ Hah a-ya Sumi-no-E-ni Tsuki-ni-ke--ri-
Iyah - △ Iyah - △

余議

ワキナナリ

待謡

望合打切や

△高砂やこの浦舟に帆を上げて

高砂

元(原シ)

石

この浦舟に帆を上げて月諸とも

に出で汐の波の淡路の島影や

遠く鳴尾の沖過ぎてはや住の

江に着きにけりはや住の江に

着きにけり△出端 我見ても

望合

上サカニサフリ

石